

(イ) 幼児が親しみやすいメロディ楽器

No	楽器イラスト	楽器の知識や奏法	どんな音色？
12	<p>鍵盤ハーモニカ (melodica / 英)</p> 	<p>ホース状の唄口や立奏時用の短い唄口から息を吹き込み、中にある金属のリードを震わせて音を鳴らす鍵盤楽器。幼稚園や小学校低学年等でよく使用されるが、息を入れながら鍵盤を押す、タンギングで音を切る等の奏法は、子どもにとっては難しい。また、指一本で弾かないように注意することも必要。演奏後の水抜きやホースを洗う等、衛生的に使用できるよう手入れをすることも大切。なお、ピアノやメロディオンというのはメーカーの商品名のこと。</p>	
13	<p>木琴</p> 	<p>木琴と言えばシロフォンを指す。紫檀やローズウッド等の硬い材質の木製音板をマレットで打って音を鳴らす。同じ木製の音板を持つ鍵盤打楽器にマリンバがある。シロフォンは硬く明るい音色、マリンバは柔らかく深みのある音色がする。マレットの材質によって音色が変わる。</p>	
14	<p>鉄琴</p> 	<p>金属製の音板をマレットで打って音を鳴らす。2オクターブ半程度の音域で、ドイツ語で鐘という意味のグロッケンシュピール、金属製音板に羽が内蔵された共鳴管が付き、モーターで回しヴィブラートをかけるヴィブラフォンがある。耳障りにならないようマレット選びも大切。コントラバスの弓で擦ると不思議な音が鳴る</p>	
15	<p>ミュージックベル</p>  <p>デスクタイプ</p>	<p>イギリスで生まれたハンドベルは、クラッパーという一方方向にだけ往復する振り子が金属部分を叩いて音がなるが、ミュージックベルは硬めのスプリングにプラスチックの玉が付いており、どの方向に振っても音が鳴るため、子どもでも扱いやすい。また、音ごとに色分けされている。デスクタイプはベルを置いた状態で上部のボタンを押して音を鳴らすため、簡単に扱える</p>	
16	<p>トーンチャイム</p> 	<p>普及版のバンドベルとして鈴木楽器製作所が開発した楽器。鉄琴をバラバラにしたような楽器。筒状のアルミ板を振ると、楽器に付いている小さなハンマーが叩きヴィブラフォンのような音が鳴る。一人では演奏できないため、グループで演奏する。音楽療法で用いられることも多い。</p>	
17	<p>アコーディオン</p> 	<p>空気を送ってリードを震わせることで音を鳴らす。両手で抱えるようにして持ち、中央の蛇腹を伸縮させて空気を送り込む。右手側に鍵盤、左手側に和音を奏するためのボタンが並んでいる。楽器本体は重く、操作も難しいため、幼稚園・保育園ならば年長クラスで体力のある子に担当させた方がよい。</p>	
18	<p>キーボード</p> 	<p>本来、キーボードとは鍵盤楽器全体を指すが、ここでは電子楽器のことをいう。電子キーボードやポータブルキーボード等とも呼ばれ、32～76鍵くらいのものである。本体は軽量で、音色に変える等、いろいろな機能がある。鍵盤も軽いいため、キーボードで弾き慣れるとピアノの鍵盤が重く、上手く指を動かすことができなくなることがあるため、注意が必要。</p>	

(イ) 幼児が親しみやすいメロディ楽器

No	楽器イラスト	楽器の知識や奏法	どんな音色？
19	<p>電子ピアノ</p> 	<p>ほとんどが 88 鍵で、上位モデルになると音色やタッチが本物のピアノに近づけられている。ヘッドホンを接続することができるため、近隣への迷惑をあまり気にせず演奏することができる。ペダルや専用のスタンドが付いているものや本物のピアノに近い形のものもあるが、鍵盤だけのものもある。鍵盤だけのものでも本体は比較的重い。</p>	
20	<p>ピアノ</p> 	<p>本来、ピアノとはグランドピアノのことを指す。pp から ff まで豊かに響き、微妙な表情の変化もつけることができる。水平に張られた弦をハンマーが下から上に向かって打って音を鳴らす。かなり重たいため、一人で動かすことは難しい。一方、弦を縦に張り、コンパクトにしたものが箱型のアップライトピアノで、設置面積が狭くて済む。ハンマーが弦を打つ仕組みがグランドピアノと違うため、素早い連打に限界がある。また、ペダルの機能が異なる。</p>	

No. 12, 15 (デスクタイプ), 18
No. 15, 16, 17, 19, 20

所蔵：齊藤淳子
所蔵：川口短期大学
撮影 ©2023, J. SAITO